

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎週、活動内容を変えて子ども達が 選択できるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。	3	2	活動の中で時折、地域の人（店員さん）と 交流はあるが、限定的である。	地域交流する機会がほとんどないため、長 期休み期間を利用して様々なイベントや活 動を企画していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	4	1		事業所や分野ごとによって対応は異なるが 、お互いに情報共有を図りながらよりよい 支援を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	必要に応じて情報共有を行っている。法人 内の場合は、きちんと情報共有が行われて いる。	対象児がいる場合は、情報共有と相互理解 を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	2	3		該当者なし。対象児がいる場合は、情報共 有と相互理解を図る。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	法人内でスーパーバイズや助言や研修を受 ける機会がある。	必要に応じてスーパーバイズからの助言、 研修を依頼し、スキルアップを図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。		5		事業所独自での地域交流はほとんどきて いない。要望(必要性)もあれば地域住民も 参加できるイベントなどを検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	5		LINEやHUG（アプリ）を用いて、日頃の 様子を写真や文章で伝えている。	仕事の都合などで会う機会が少ない保護者 様の場合、モニタリングなどの面談機会し か直接話すことができない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者会の中で、保護者向け研修を実施し ている。	保護者会は法人全体で年に1回しか実施で きていない。定期的な研修の開催ができな いか検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			